



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 関 広之 TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	22,075	△4.5	2,273	△54.3	3,787	△33.8	3,042	△34.6
26年3月期第3四半期	23,122	11.9	4,975	67.6	5,723	47.4	4,652	56.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 4,234百万円 (△19.8%) 26年3月期第3四半期 5,282百万円 (70.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	53.56	—
26年3月期第3四半期	81.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	76,242	67,506	88.5
26年3月期	73,826	64,785	87.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 67,506百万円 26年3月期 64,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
27年3月期	—	13.00	—		
27年3月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,150	△1.6	2,750	△44.3	4,200	△28.5	3,450	△27.3	60.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、『添付資料』P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、『添付資料』P. 3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	58,584,093株	26年3月期	58,584,093株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,778,921株	26年3月期	1,778,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	56,805,577株	26年3月期3Q	56,806,293株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成27年2月3日より当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）の売上高は、前年同期と比べ4.5%減の220億7千5百万円となりました。これは、円安効果があった一方で、国内における薬価引き下げや、海外医薬品の出荷が前年同期に高水準だった反動を受けたことによるものです。

売上減や新生産設備稼働に伴う減価償却費増加により売上総利益が減少したことに加え、開発テーマ進展に伴う研究開発費の大幅な増加もあり、営業利益は54.3%減の22億7千3百万円となりました。投資有価証券売却益や保有外貨建資産の為替評価益などにより減益幅が縮小し、経常利益は33.8%減の37億8千7百万円、四半期純利益は34.6%減の30億4千2百万円となりました。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

・国内医薬品（131億1千8百万円、前年同期比7.0%減）

関節機能改善剤アルツは、市場全体が微減という環境下で、販売提携先の拡販努力により医療機関納入本数は増加しました。当社売上は、薬価引き下げの影響により減少しました。

眼科手術補助剤オペガンは、厳しい競合環境が継続するなか、医療機関納入本数はほぼ横ばいとなり、当社売上は、薬価引き下げの影響により減少しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、医療機関納入本数が増加しましたが、当社売上は販売提携先の在庫調整があり前年同期並みとなりました。

・海外医薬品（43億1百万円、同5.8%減）

米国向け関節機能改善剤スパルツは、3回投与の競合品が引き続き売上を伸ばしているものの、現地販売は販売提携先の拡販努力により微減に留まりました。当社売上は、前年同期の出荷が高水準だった反動を受け減少しました。

中国向けアルツは、主要都市の大病院などで高い品質が評価されており、現地販売及び当社売上が増加しました。

単回投与の米国向け関節機能改善剤ジェル・ワンは、販売提携先による営業活動強化により大手医薬品卸を中心とした販売が増加しました。当社売上も数量増に加え円安効果があり増加しました。なお、平成26年10月に米国駐在員事務所を開設し、販売提携先への支援を充実させていきます。

・医薬品原体（10億1千4百万円、同20.5%減）

ヒアルロン酸の市場環境が厳しさを増しており、減少しました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は184億3千3百万円（同7.6%減）となりました。

<LAL事業>

エンドトキシン測定用試薬の販売増加や円安効果により、売上高は36億4千1百万円（同14.9%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

<参考：平成27年3月期連結業績予想>

（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

売上高	29,150百万円	（前期比	1.6%減）
営業利益	2,750百万円	（	〃 44.3%減）
経常利益	4,200百万円	（	〃 28.5%減）
当期純利益	3,450百万円	（	〃 27.3%減）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,097	5,202
受取手形及び売掛金	7,776	9,982
有価証券	5,478	3,980
商品及び製品	2,965	2,924
仕掛品	1,272	1,368
原材料及び貯蔵品	1,430	1,532
繰延税金資産	1,113	1,088
その他	1,526	3,144
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	28,658	29,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,507	18,944
減価償却累計額	△9,280	△9,537
建物及び構築物（純額）	9,226	9,407
機械装置及び運搬具	16,289	16,741
減価償却累計額	△10,383	△11,213
機械装置及び運搬具（純額）	5,905	5,528
土地	972	995
リース資産	1,162	1,158
減価償却累計額	△833	△976
リース資産（純額）	329	182
建設仮勘定	9,195	9,234
その他	4,342	4,474
減価償却累計額	△3,053	△3,350
その他（純額）	1,288	1,123
有形固定資産合計	26,918	26,471
無形固定資産		
その他	228	258
無形固定資産合計	228	258
投資その他の資産		
投資有価証券	17,244	19,014
長期貸付金	120	100
その他	785	1,282
貸倒引当金	△127	△107
投資その他の資産合計	18,021	20,290
固定資産合計	45,167	47,020
資産合計	73,826	76,242

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,320	1,286
1年内返済予定の長期借入金	—	142
リース債務	256	144
未払金	3,118	2,706
未払法人税等	940	361
賞与引当金	613	314
事業構造改善引当金	78	—
災害損失引当金	16	16
その他	322	1,040
流動負債合計	6,665	6,013
固定負債		
長期借入金	1,000	857
リース債務	47	51
繰延税金負債	918	1,422
退職給付に係る負債	257	216
資産除去債務	36	36
その他	115	136
固定負債合計	2,375	2,722
負債合計	9,040	8,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	56,139	57,669
自己株式	△2,079	△2,080
株主資本合計	63,202	64,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,864	2,918
為替換算調整勘定	152	275
退職給付に係る調整累計額	△433	△418
その他の包括利益累計額合計	1,583	2,775
純資産合計	64,785	67,506
負債純資産合計	73,826	76,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	23,122	22,075
売上原価	8,484	9,031
売上総利益	14,637	13,043
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,445	1,355
人件費	1,448	1,483
賞与引当金繰入額	83	77
退職給付費用	67	65
研究開発費	4,561	5,698
その他	2,055	2,088
販売費及び一般管理費合計	9,662	10,769
営業利益	4,975	2,273
営業外収益		
受取利息	97	68
受取配当金	167	186
為替差益	371	585
投資有価証券売却益	—	413
受取ロイヤリティー	105	241
その他	64	104
営業外収益合計	806	1,600
営業外費用		
支払利息	14	10
投資有価証券評価損	35	—
固定資産除却損	7	76
その他	0	0
営業外費用合計	58	87
経常利益	5,723	3,787
特別利益		
投資有価証券売却益	622	—
特別利益合計	622	—
特別損失		
事業構造改善費用	517	—
特別損失合計	517	—
税金等調整前四半期純利益	5,828	3,787
法人税、住民税及び事業税	1,156	722
法人税等調整額	20	22
法人税等合計	1,176	744
少数株主損益調整前四半期純利益	4,652	3,042
四半期純利益	4,652	3,042

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	4,652	3,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188	1,054
為替換算調整勘定	441	122
退職給付に係る調整額	—	15
その他の包括利益合計	630	1,192
四半期包括利益	5,282	4,234
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,282	4,234
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,952	3,169	23,122	—	23,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,952	3,169	23,122	—	23,122
セグメント利益	4,231	743	4,975	—	4,975

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,433	3,641	22,075	—	22,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,433	3,641	22,075	—	22,075
セグメント利益	1,323	950	2,273	—	2,273

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。